学校だより
三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

学校教育目標
～夢を求め、健やかで
温かい生徒の育成～

今日から３月です。春を先取りするように、先週からは特設陸上部の朝練や、校庭での体育の授業も始まりました。中学校には耳で感じる独特の季節感があります。校舎から合唱の歌声が響くと秋の深まりを感じ、校庭から生徒諸君の元気な声が聞こえてくると、春の息吹を感じます。本格的な春もそこまで来ています。

先輩、後は任せて！
２年生・１年生　大活躍！

２月26日（火）、後期生徒会総会と３年生を送る会が行われ、次代を担う２年生・１年生が立派に行事を運営しました。

まず生徒会総会では、１月に発足した、佐藤汰市会長をはじめとする新生徒会本部役員を中心に、新しい各委員長や各部長が説明に立ち、今年度の活動の反省などを報告しました。そして生徒からの質疑応答の後、各議案は承認されました。議長を務めた渡部　聖矢君、北野萌果さんも、立派に大役を果たしました。

続いて行われた３年生を送る会では、先生方にまず３学年のつわるクイズで盛り上げる３続いて部活動毎に３年生へのメッセージがビデオで紹介され、２年生・１年生がそれぞれの部のカラーを出しながら、先輩への思いを伝えました。

まず在校生からの「ありがとう」の気持ちを表す歌のプレゼントです。森山直太朗の「さくら」が贈られました。「独唱」がどちらも名曲ですが、それぞれの思いがこもった熱唱で、より一層感動的に響き渡りました。

卒業していく３年生も、この活躍の後輩達を見て、これから信中学校を安心して託せると思ってくれたのではないでしょうか。今回の素晴らしい会で、大信中学校の生徒会は、現在も引き継がれている、「あったか家族の５ヶ条」をはじめ、自分たちで次々に新たな伝統をつくり、継承してきました。

校長のつぶやき

全校生徒に紹介した、生徒会総会で私が大信中で生徒会を担当していた頃のエピソードです。

当時、中学生の男子は丸刈りでしたが、各地で頭髪自由化の流れも起こっていました。しかし近くの学校では、自由化に踏み切ったところに、たちまちいろんな変形髪型が流行ってしまったという例もあったのです。

そんな時、本校の男子生徒が頭髪を自由化してほしいと学校側に申し出ました（勿論、学校は社会の秩序やルールを学ぶところですから、自由化と言っても、なんでもいいという意味ではありません）。

しかし彼らの中にはごく一部ですが、丸刈りの決まりも守れず、剃り込み、角刈り、眉剃りをする者もいたので、「**今でも守れないのに、自由化したらなおさら決まりを守れないだろう**」と却下されました。

すると、間もなく卒業する立場で、今さら自由化してもメリットをあまり受けない３年生男子が、全員きれいに丸刈りにしてきたのです。自分たちが立派にルールを守れることを証明した上で、改めて「**僕たちはともかく、後輩たちのためにも、頭髪を自由化してやってください**」と申し出たのです。

こうして大信中は生徒の手で頭髪自由化を獲得し、その後輩たちも学校のルールを守り、それを崩すことはなかったのです。